

私立高校入試について

高等学校には、公立高校と私立高校がありますが、私立高校の入試はどのように行われているのでしょうか？2年生の時に学習していると思いますが、もう一度確認しておきます。まず、私立高校の入試は「一般」入試と「推薦」入試に分かれます。

私立高校の「一般」入試には、「単願」「併願」の区分があります。「一般」は学力試験が行われ、主にその点数によって合否が決まる入試です。「単願」とはその高校を第1志望として、合格したら、すぐに入学手続きをしなければならない入試です。「併願」は、他の高校を第1志望としておき、第1志望の合否を待って、入学するかしないかを定める入試です。入学手続きも、その学校の合格発表まで待ってくれる場合がほとんどです（延納金を支払う学校もあります）。

また、「推薦」は、事前に学校側から推薦のための基準・条件・目安などが示され、それに該当していれば、「一般」入試よりも優先的に合格できる制度です。多くの私立高校が、「単願」だけでなく「併願」でも「推薦」の制度を適用しており、「単願推薦」、「併願推薦」と呼ばれています。各学校の「推薦」の条件は中学3年次の成績や学校活動、業者によるテストを考慮して判定を行っている学校がほとんどです。9月から11月の間に各学校が個別相談を行い、受験生・保護者と話し合い、決定していきます。その準備として、夏休み中に興味のある学校について、いろいろ調べていきましょう。夏休みに説明会や体験授業を行って場合もあります。今年もコロナウイルスの影響で、各校の学校説明会や個別相談会の日程が変更されることが予想されます。早い段階で参加することを勧めます。学校のホームページなどをこまめにチェックしておきましょう。

9月2日（木）に南部校長会の実力テストが行われます。2回目が10月、3回目が1月です。中学校では、その結果を中心に希望校の可能性を話し合っていきます。

三者面談について

担任の先生から通知が出ていますが、夏休みに三者面談が行われます。

1) 期日 7月21日（水）～

2) 内容

- ①進路希望調査をもとに、進路についてどのように考えているか確認します。
（説明会等の参加予定等）
- ②1学期の成績や1・2年生の時の成績を参考に反省と今後の課題を確認します。
- ③夏休みの生活・学習について取り組みを確認します。
- ④その他

主に以上の4点について、お話を伺うことになると思います。第1志望校がある程度考えられている人は、万一に備えての第2志望校をどうするのか（受験するか、しないか。どこを受けるのか。）までお話していきます。

埼玉県公立高校の「学校の活性化・特色化方針」一覧が埼玉県教育委員会HPに掲載されています。参考にしてください。

①具体的な受験先

どこの学校の相談会に行ってきた、最終的に「どこの学校」と「どこの学校」を受験するのか。

②・第1志望校をA（公立）にして、第2志望としてB（私立）を併願推薦（個別相談で 基準は満たしていることは確認済み）で受験する。

・第1志望校をA（私立）単願推薦で受験する。個別相談にも行き、受験基準は満たしていることは確認済み。